



HEADLINE

周産期医療

産婦人科部

母体胎児心疾患と妊娠出産

小児循環器内科部

胎児診断、新生児医療

小児心臓外科部

新生児手術

成人先天性心疾患科

ACHDの妊娠と出産

最新の医療 研究の話題

病院長外来「オンライン・セカンドオピニオン」を開始

41

2020 AUTUMN

特集

周産期医療

#1 Obstetrics and gynecology

産婦人科部

産婦人科部 部長 吉松 淳

産婦人科部は、母体心臓病合併妊娠、母体の脳血管障害合併妊娠の妊娠・出産の管理、胎児心臓病の診断、出産の管理を診療の3つの柱としています。分娩数は年間250-300件前後ですがその全てがハイリスク妊娠・分娩で、母体心臓病合併妊娠、母体の脳血管障害合併妊娠の妊娠・出産の管理、胎児心臓病の占める割合が高まってきています。我が国の妊産婦死亡の主要な原因は分娩時の大量出血ですが、近年、脳血管疾患、心血管疾患による死亡例が占める割合が増加しており、全体の1/4となっています。つまり、国産の産婦人科は妊婦の命を守る最前線にあり、また、最後の砦として地域から、また全国から、そして、最近では世界各国から患者様が受診されています。

心疾患を持つ女性の妊娠

妊娠を希望する心疾患を持つ女性は年々増加しています。心疾患と言っても様々な種類があります。また、同じ病気でもそれぞれ違いがあります。妊娠中の管理、分娩方法など、個々にあった管理方法で、テラーメイドで診療しています。本人の希望、家族の意志を尊重し、他科との協力の下、安全なお産を提供しています。いっしょに提供したいと思っています。

赤ちゃんの心疾患

お腹にいる赤ちゃんの心臓の異常について年間100例以上の紹介を受けています。比較的治療の困難な難しい症例が多いのが当センターの特徴と言えます。単なる診断に留まらず、生まれた後の経過を予測し、小児循環器内科、小児心臓外科と一緒に治療戦略を立て分娩に臨んでいます。出生後に急変が予想される疾患に対しては分娩から緊急手術と滞りなく治療が行える体制となっています。

国立循環器病研究センター産婦人科では、心臓、脳血管に問題を抱える女性の妊娠・分娩管理の専門施設として、

「産婦人科部」サイト



我が国のオピニオンリーダーの役割を担っています。これからも、より安全で安心できる分娩を提供していきたいと思っています。妊娠・分娩以外でも循環器疾患を抱える女性の思春期の月経異常、婦人科疾患、更年期障害などに対して適切な助言、手術を含めた治療を行うといった婦人科医療も行っています。循環器内科、心臓外科、小児循環器内科、小児心臓外科、麻酔科、脳神経外科、脳血管内科といった専門家集団と協力して循環器疾患、脳血管疾患を持つ女性のライフサイクルに寄り添った診療を行っているのです。



産婦人科部 部長
吉松 淳 Jun Yoshimatsu
●日本産科婦人科学会
産婦人科専門医・指導医
●日本周産期・新生児医学会
暫定代表指導医
●母体保護法指定医師
●胎児心エコー認証医
●国際周産期学アカデミーメンバー



#2 Pediatrics cardiology

小児循環器内科部

小児循環器内科部 特任部長 黒寄 健一

小児循環器内科部 新生児科 廣田 篤史

赤ちゃんの心臓病診療は胎児診断から始まる時代に

ほんの10年ほど前までは、赤ちゃんの心臓病は心雑音や健診をきっかけに診断されることが多く、時には生まれて直ぐに赤ちゃんの具合が悪くなり救急搬送されることがありました。場合によっては全身状態が悪くなった状態から治療を開始することもありました。最近では超音波診断装置が進歩し診断技術が向上したおかげで、ほとんどの生まれつきの心臓病を胎児期に診断できる様になっています。かかりつけの産婦人科で胎児の心臓病を疑われた時に当院をご紹介いただくと、胎児心エコー検査のほかに胎児MRI、胎児心磁図などを用いて詳しく診断することができます。また胎児期からの不整脈治療もおこなっています。

胎児診断ができると、病院側は出生時からカテーテル治療や緊急手術など治療の準備をして赤ちゃんの出産を待つことができます。また、ご家族にとっても普段聞きなれない病名や治療を理解する時間があることは、生まれてからの赤ちゃんに寄り添っていくために大切なことだと考えています。



チームで取り組む新生児医療

生まれてすぐに赤ちゃんは新生児心臓集中治療室（NICU）で治療を開始します。生まれた直後からの治療に対応できるように、新生児科だけでなく小児循環器内科、小児心臓外科、カテーテル治療や不整脈治療のスペシャリストが緊密に連携して治療方法や手術のタイミングを決定します。医師だけでなく小児循環器を専門とする看護師、助産師、臨床心理士などの多職種からなる小児ハートチームが赤ちゃんのサポートを行います。また、赤ちゃんにとって一番のサポートメンバーである御両親にも支援を行います。

発達・発育をこころがけた地域との協力

生まれてから手術など大変な治療を行ったところで終わりはありません。多くの場合は退院したあとも、お子さんの成長をみながら通院や治療を続ける必要があります。

病氣と付き合いながら、お子さんが安心して生活し成長していけるように、お住いの地域の小児科の先生や保健師と連携をとっています。またお子さんだけでなくご兄弟を含めたご家族の療養生活と育児支援にも取り組んでいます。



小児循環器内科部 特任部長

黒寄 健一

Kenichi Kurosaki

- 日本小児科学会専門医・指導医
- 日本小児循環器学会専門医・指導責任医
- 胎児心臓病学会 胎児心エコー認証医



小児循環器内科部

新生児科 医師

廣田 篤史

Atsushi Hirota

- 日本小児科学会専門医・指導医
- 日本周産期・新生児医学会周産期（新生児）専門医・指導医
- 胎児心臓病学会 胎児心エコー認証医



#3 Pediatric cardiac surgery



「小児心臓外科部」サイト

小児心臓外科部

小児心臓外科部 部長 市川 肇

小児心臓外科部は小児循環器内科部と産婦人科との連携のもと、小児におけるすべての心臓血管疾患、ならびに成人も含む先天性心疾患すべての外科治療を担当しています。



小児心臓外科の最初の入り口はまず新生児期に治療が必要となる最も重症なタイプの疾患です。左心低形成症候群、総肺静脈還流異常症、大動脈縮窄症、単心室症やそれ以外の動脈管依存性体循環の疾患などで、すぐに治療を始めないと1か月以内に死亡に至る病態の患者群です。新生児期の人工心肺を使った手術は新生児期以降と比べて死亡率が高いですが、当院では多数の経験があり救命率は年々向上してきています。

次は乳幼児期から幼児期の疾患ですが、これらは予定手術で対応いたします。診断が確定していなくてももちろん受診することは可能で診断確定後小児循環器内科とのカンファレンスの後手術適応を決定いたします。

成人に至った先天性心疾患の患者数はもはや18歳以下の先天性心疾患の患者数を超過しており、それはひとえに初期の治療成績が向上したからです。しかしながら最初の手術から数十年を経て再手術が必要となることが少なからずあります。その手術の必要性に関してはやはり我々の豊富な経験から一例一例を詳細に検討し手術適応を決めていきます。他院で小児期に手術された患者様の再手術を引き受けることが大変多いので、初回手術を当院で受けておられなくても

手術を希望することは可能です。

最後は小児の重症心不全です。末期心不全で心臓移植を必要とするような患者に対して心臓移植までの待機期間を安全に過ごせるように必要であれば補助人工心臓装着手術を行うことが可能です。適合するドナーが現れば心臓移植を行います。現時点では全国で3つの施設で10歳以下の心臓移植が認められていますが、当院はその一つです。

一般的な先天性心疾患は軽症重症を問わず我々の部門の診療の対象となります。また従来は治療不可能と言われたような複雑な先天性心疾患に対しての先進的な手術術式を開発し続けており、それら術式の中には長年の評価期間を経て今や標準術式となっている手術もあります。



小児心臓外科部 部長
市川 肇 Hajime Ichikawa
●心臓血管外科専門医
●日本心臓血管外科学会評議員
●心臓血管外科専門医認定機構修練指導者
●外科専門医
●胸部外科学会認定医
●日本胸部外科学会評議員
●米国胸部外科学会会員



#4 Adult congenital heart disease



「成人先天性心疾患科」サイト

成人先天性心疾患科

小児循環器内科部 医長 大内 秀雄

成人を迎える女性の先天性心疾患の患者が当院で出産される機会が大変多くなってきています。特に当院では ACHD (Adult congenital heart disease) 患者の中でも重症度の高い患者の妊娠・出産に積極的に取り組んでいます。

ACHDの妊娠と出産

これらのACHDにはファロー四徴症、完全大血管転位症、修正大血管転位症、機械弁を有する患者、更にはフォンタン手術後など複雑で重症な患者が含まれます。これらの患者の妊娠・出産に際しては、当院では成人先天性心疾患科、小児循環器科、産婦人科が綿密に連携し、より安全な妊娠・出産を目指し質の高い医療の提供に努めています。特にフォンタン術後患者などのリスクの高い場合にはその病態の評価が極めて重要となります。成人先天性心疾患科では妊娠・出産のリスクを評価するため 24時間ホルター心電図や心肺運動負荷試験を行っています。特に心肺運動負荷試験は妊娠・出産時の合併症の予測には有用な検査です。また、詳細な心機能の評価が必要と考えられる場合には心臓カテーテル検査を行っています。加えて、リスクの高い妊娠・

出産にはご家族の協力が極めて重要であることから妊娠・出産に対する理解を深め、不安等の軽減を考慮し、当院では、患者本人に加えて、妊娠前から患者や家族との綿密な情報交換の場を大切にしています。益々増加する ACHD 女性の希望に添えるような充実した成人先天性心疾患医療を目指したいと考えています。



小児循環器内科部 医長
大内 秀雄 Hideo Ohuchi
●小児科専門医
●小児循環器専門医
●成人先天性心疾患暫定指導医
(専門領域)
●小児循環器 ●心肺運動生理
●心不全管理 ●成人先天性心疾患



最新の医療
研究の話題

病院長外来

「オンライン・セカンドオピニオン」を開始

「オンライン・セカンドオピニオン」サイト



株式会社メドレーが提供するオンライン診療システム「CLINICS (クリニクス)」を用いて、病院長外来「オンラインによるセカンドオピニオン外来」を開始しました。

国立循環器病研究センターでは、脳卒中・循環器病の制圧に向けて、職員一同、地域と連携して診療・研究に励んでいます。超高齢社会の進展に伴って、脳卒中・心臓疾患などの生活習慣病を有する患者さんが多くなってきています。また、近年そのような病気を複数お持ちになる患者さんも増加傾向にあることで、治療法の選択が難しくなっている現状もあり、治療法の選択にあたっては、患者さんご自身の価値（クオリティ・オブ・ライフ、生活の質）に基づいた治療の評価が、ますます重視されています。

患者さんご自身の病気に対する治療の判断に迷われた場合に、患者さんはセカンドオピニオンを受ける権利があります。新型コロナウイルス感染症の終息が見えない現在、患者さんがセカンドオピニオンを希望された場合に、遠方への移動が難しい状況が今後も続く可能性があります。



このような状況に鑑み、国循では現状を解決の一役を担うため、「病院長外来 オンライン・セカンドオピニオン」を開設することといたしました。メドレーの提供する「CLINICS」を活用することで、患者さんは全国どこでもお持ちのパソコンやスマートフォンから、オンラインでセカンドオピニオンを受けることができます。

日本や世界の実臨床のデータに基づき、患者さんにわかりやすいセカンドオピニオン外来を目指します。

病院長外来について

- ◆ 担当医：病院長 飯原 弘二
- ◆ 専門：脳血管障害の予防・医療、脳神経外科、心疾患併発脳血管障害、など
(病院長略歴)
<http://www.ncvc.go.jp/hospital/about/greeting.html>
- ◆ 対象診療科：脳血管部門・脳外科
- ◆ 診察日：水曜日、木曜日（祝日を除く）
- ◆ 時間：原則 午前10:00からの30分
- ◆ 料金：44,000円(税込)
※事前オンライン予約制。
延長は、30分 22,000円(税込)

受付・お問い合わせ先
(患者さんやご家族向け)

国立循環器病研究センター 専門医療連携室
電話：06-6170-1070（代表）内線 31209、31210
受付時間：9:30から16:00（平日）

◆ご利用の流れについて

- 1 診察予約 予約を行うには、「CLINICS」へのアカウント登録が必要になります。「CLINICS」アプリをダウンロード、またはWEBからアカウント登録を行い予約をしていただきます。
- 2 相談日の営業日 3 日前までに申込書・主治医の診療情報提供書・検査データ等の送付（必要な方）同意書と続柄を示す書類等を専門医療連携室へ郵送してください。
- 3 診察を受ける カメラ・マイクつきのパソコンもしくはスマートフォンを利用し診察を受けます。
- 4 お支払い 診察にかかった費用は、アカウント登録時に設定したクレジットカードから自動的に引き落とされます。

「つながる」

国循がご協力いただいているクリニック様を紹介します

小児科
みやけ小児科

院長 みやけ あきら 三宅 啓 先生
副院長 みやけ ふみこ 三宅 史子 先生

当院は、令和2年4月にJR 高槻駅近くに開院したクリニックです。標榜は小児科、小児循環器内科、小児内分泌内科です。小児科医師2名で診療を行っています。国立循環器病研究センターは、私が小児循環器内科に勤務していた際大変お世話になった施設で、とても親しみを感じています。循環器病研究センターに通院中の心疾患を持つお子様も日常の小児科診療や予防接種で当院を利用頂くこともあります。今後とも地域に根ざした小児診療を心がけ、より専門的な診療や心疾患の緊急受診を必要とするお子様が適切に循環器病研究センターに受診できるお手伝いができればと思います。



【所在地】〒569-1121

高槻市真上町2-1-31

専用駐車場7台

【TEL】072-669-8971

072-669-8961(予約専用)

【アクセス】JR高槻駅から徒歩10分

「みやけ小児科」サイト



診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 8:30~12:00	○	○	○	○	○	○
予防接種・健診 14:00~16:00	○	○	○	○	○	／
午後 16:00~18:30	○	○	○	○	○	※

【休診日】日曜日・祝日

※土曜日は 14:00~16:00 ※土曜日予防接種は随時相談



減塩食のレシピ

一品料理レシピ

かるしおプロジェクト
-KARUSHIO PROJECT-

酸辣湯（サンラータン）

1人分エネルギー
71 kcal
塩分0.7g

下準備

- ・木綿豆腐は1cmのさいの目切りにする。
- ・たけのこ、にんじんは4cmの短冊切りにする。
- ・えのきたけは4cmの長さに切る。
- ・しめじは石づきを取り、ばらす。
- ・青ねぎは小口切りにする。
- ・鶏卵は割り、溶いておく。
- ・片栗粉は倍量の水（分量外）で溶いておく。

●作り方

- ① たけのこ、にんじん、えのきたけ、しめじを下茹でし、ザルにあける。
- ② 鍋にだし汁、鶏がらスープ、酢、こしょうを入れ、水溶性片栗粉でトロミをつける。そのうち半分を別の鍋に取っておく。
- ③ ①で下茹でした野菜と木綿豆腐を、②のうちの1つの鍋に入れ、加熱する。
- ④ ②の別の鍋のスープを沸かし、溶き卵を少しずつ回し入れる。
- ⑤ ③の鍋に④を合わせる。
- ⑥ 器に盛り付け、上に青ねぎを盛り、ラー油を垂らす。



かるしおプロジェクトは「塩を軽く
使って美味しさを引き出す、減塩の
新しい考え方」です。「かるしおプロジェクト」サイト



●材料（2人分）

木綿豆腐……………80g	だし汁……………150cc
たけのこ水煮……………40g	鶏がらスープ……………3g
にんじん……………10g	酢……………5cc
えのきたけ……………10g	こしょう……………少々
しめじ……………10g	片栗粉……………4g
青ねぎ……………6g	鶏卵……………20g
	ラー油……………少々

電車利用の場合

JR大阪駅・新大阪駅・京都駅から

■ JR 京都線「岸辺」駅より約 300m
(連絡通路で直結)

阪急大阪梅田駅・京都河原町駅から

■ 阪急京都線「正雀」駅より約 800m

自動車利用の場合

■ 名神高速道路「吹田 IC」より約 6km

■ 中国自動車道「中国吹田 IC」より約 6km

■ 近畿自動車道「摂津北 IC」より約 10km



新センター住所

〒564-8565 大阪府吹田市岸部新町 6 番 1 号

国立循環器病研究センター理念

私たちは、国民の健康と幸福のため、高度専門医療研究センターとして循環器疾患の究明と制圧に挑みます。

基本方針

- 1 循環器病のモデル医療や世界の先端に立つ高度先駆的医療を提供します。
- 2 透明性と高い倫理性に基づいた安全で質の高い医療を実現します。
- 3 研究所と病院が一体となって循環器病の最先端の研究を推進します。
- 4 循環器病医療にかかわるさまざまな専門家とリーダーを育成します。
- 5 全職員が誇りとやりがいを持って働ける環境づくりを実践します。

